

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	英語演習		
英文授業科目名	Intermediate Seminars in English		
開講年度	2007年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	樽井 武		
居室	東1-712		

公開E-Mail	授業関連Webページ
tarui@bunka.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>アカデミックな分野で使用する英語の2つの技能（聴く力と話す力）の向上を目指す。具体的には、自分の実力を向上させる目的に合った音声教材を選び、英文のdictationを行い聴き取れない英語を知る。次にそのような英語を英語らしく発音できるまで訓練する。また、学習過程に収集した聴き誤りを分析し聴解力向上の要因を探し出しレポートを書く。また、自分の英語の力に合った音声資料を録音する。聴き取りの力を向上させる目的で、readingの指導も随時行い総合的に英語の力を向上させる。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
1年次の必修科目

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
教科書：Power-Up English JACETリスニング研究会編 南雲堂

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

教科書のモデル学習を通して学習方法やまとめ方等を学んだ後で、学生は各自の興味に応じて個別学習を行う。具体的には、クラスでの講義、発表、討論等を通して自分が取り組む問題点とその分析方法を模索し、各自が自分の興味のあるトピックの情報を収集し、問題解決にあたり、その結果をまとめて発表するという一連の取り組みを主として英語で行う。最終的には、他の学生等の評価等を参考にしながら課題を仕上げる。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業関連(予習・発表・まとめ等)[50%]および課題[50%]

履修条件:

正当な理由なく授業の1/3以上欠席した場合は、単位を認めない。

英語力の一部の客観的評価を得るためにTOEICテストを受験することが望ましい!

課題

聞き取れない英語のまとめ、スピーキングの録音等

### 【オフィスアワー: 授業相談】

予約のある相談に応じる。

### 【学生へのメッセージ】

受講する時の英語の力は問わない。英語が苦手、普通、ちょっと得意、英語オタク等どんな学生でも歓迎する。本講義で準備したプログラムを学習して、本当の英語力の獲得を強く望む学生の参加を強く望む。講義・学生諸君の個人学習・言語自習室や図書館等を十分に活用し、技術者に必要とされる英語の基礎を確実に身に着けるための講義を目指している。通年を通して学んだ結果がTOEICテストのスコアで100点UPするのが目標である。(ただし、本講義はTOEICテストの準備講座ではない・・・念のため。)

### 【その他】

言語自習室のプログラムとも有機的に関連している講義である。英語の発音(リズム)の定期的測定(10月・1

月)および発音(リズム)の練習(初級・中級・上級)を行う。また、TOEICテストを受験して各自の英語力の向上を客観的に把握する。TOEIC受験の準備(訓練)としては、ALCの自習教材を使用することもできる。